

2016年3月期上期 決算説明会資料

2015年11月4日



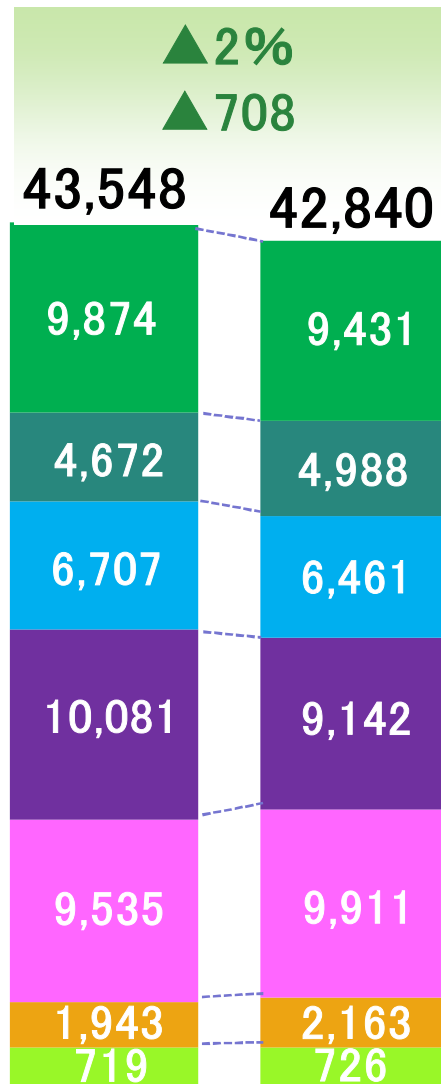
1. 2016年3月期上期 連結決算概要	P. 2
2. 通期業績予想の修正について	P. 10
3. 長期経営計画達成に向けて	P. 17
4. 補足資料	P. 26

1. 2016年3月期上期 連結決算概要



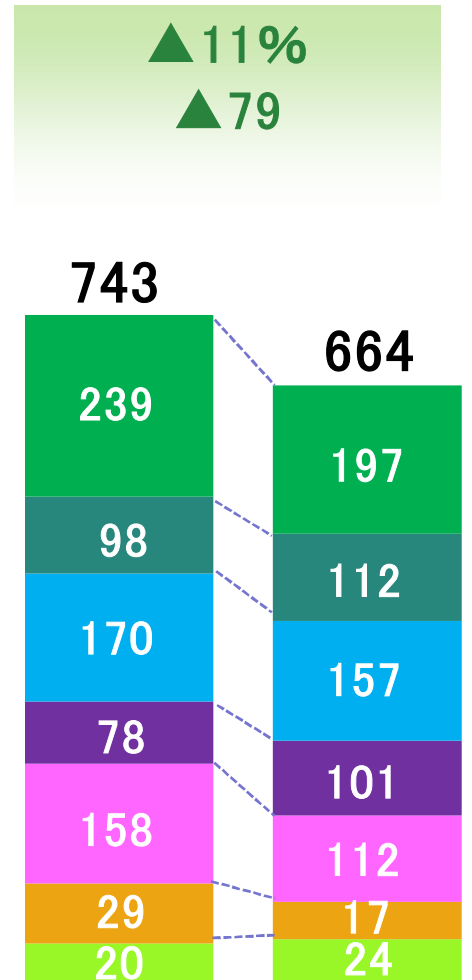
2016年3月期上期 連結決算概要(売上高、営業利益)

(単位:億円)



2015/3 上期実績 2016/3 上期実績

売上高



2015/3 上期実績 2016/3 上期実績

営業利益

- 金属
- グローバル部品・ロジスティクス
- 自動車
- 機械・エネルギー・プラントプロジェクト
- 化学品・エレクトロニクス
- 食料
- 生活

【売上高】 ▲708

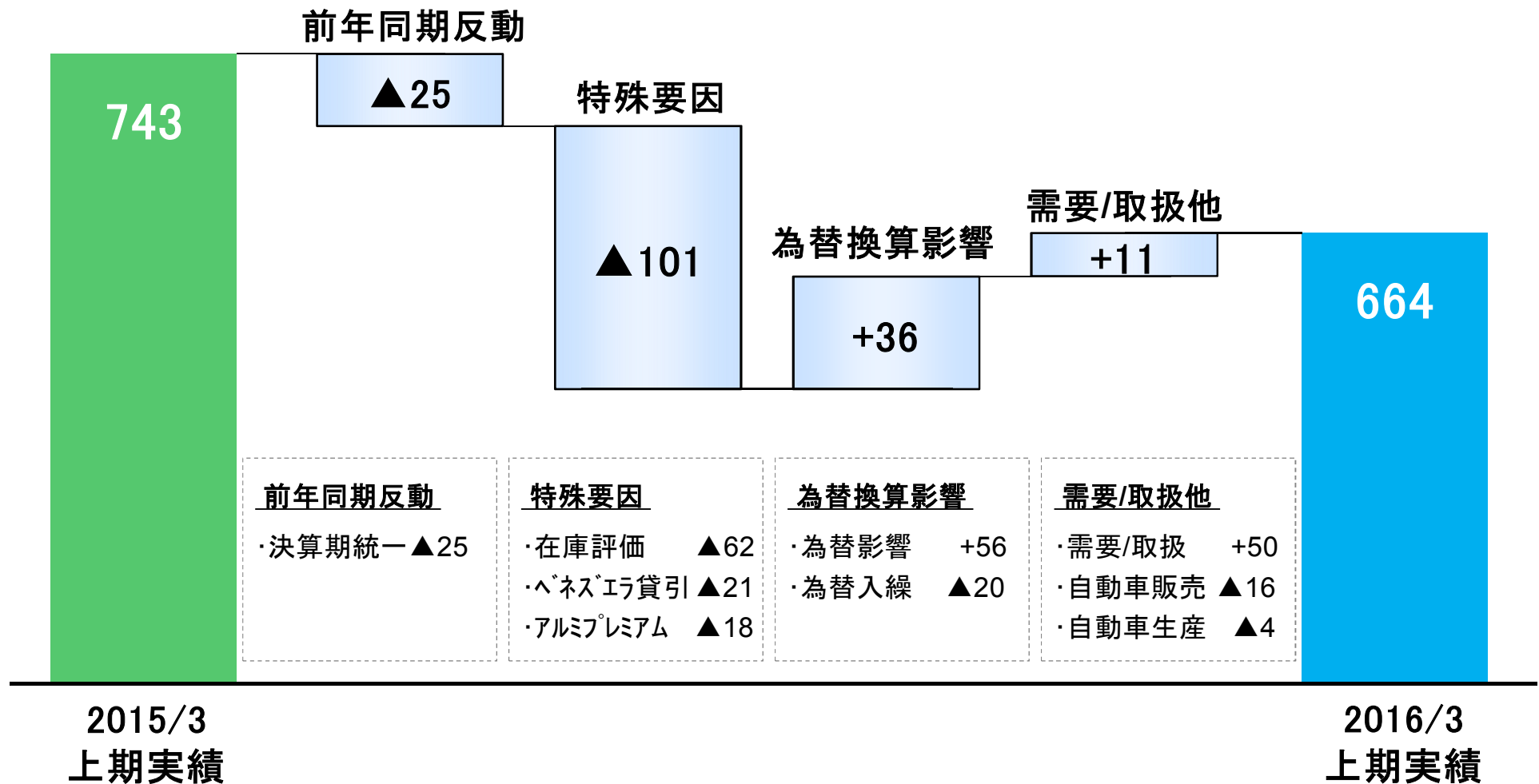
市況の下落及び前期決算期統一の影響等により、機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部、金属本部等で減少

【営業利益】 ▲79

前期決算期統一や為替換算影響及び在庫評価損等の特殊要因を除外すれば実質微増

2016年3月期上期 営業利益増減要因

(単位:億円)





自動車分野の現状（生産）

トヨタ生産台数実績

(単位:千台)	15/3上期	16/3上期	増減
国内	1,599	1,561	▲38
海外	2,893	2,872	▲21
合計	4,492	4,433	▲59

金属本部業績

(単位:億円)		15/3上期	16/3上期
営業利益		239	197
修正項目	為替換算影響	▲35	▲28
	決算期統一	▲7	
	アルミプレミアム		18
	その他		1
実質営業利益		197	188

グローバル部品・ロジスティクス本部業績

(単位:億円)		15/3上期	16/3上期
営業利益		98	112
修正項目	為替換算影響	▲5	▲22
	決算期統一	▲3	
	ベネズエラ貸引	4	8
	その他		▲4
実質営業利益		94	94

自動車生産関連事業は(特殊要因を除き)、収益基盤は安定



自動車分野の現状（販売）

当社小売台数実績

（CFAO除く）

（単位：台）	15/3上期	16/3上期	増減
アジア・オセアニア	10,876	11,399	523
中国・香港・台湾	25,000	25,748	748
中南米	13,314	11,025	▲2,289
中近東・南西アジア	2,414	3,241	827
欧州・アフリカ	13,400	11,091	※1 ▲2,309
ロシア・東欧	21,898	15,330	※2 ▲6,568
合計	86,902	77,834	▲9,068

※1 欧州でのディーラー 統廃合(▲1,411)含む

※2 15/3期決算期統一影響(5,477)除外

自動車本部業績

（単位：億円）		15/3上期	16/3上期
営業利益		170	157
修正 項目	為替換算影響	0	▲17
	決算期統一	▲6	
	ベネズエラ貸引	3	20
	その他		▲9
実質営業利益		167	151

当社の強みを生かせる地域で、自動車バリューチェーンを拡充



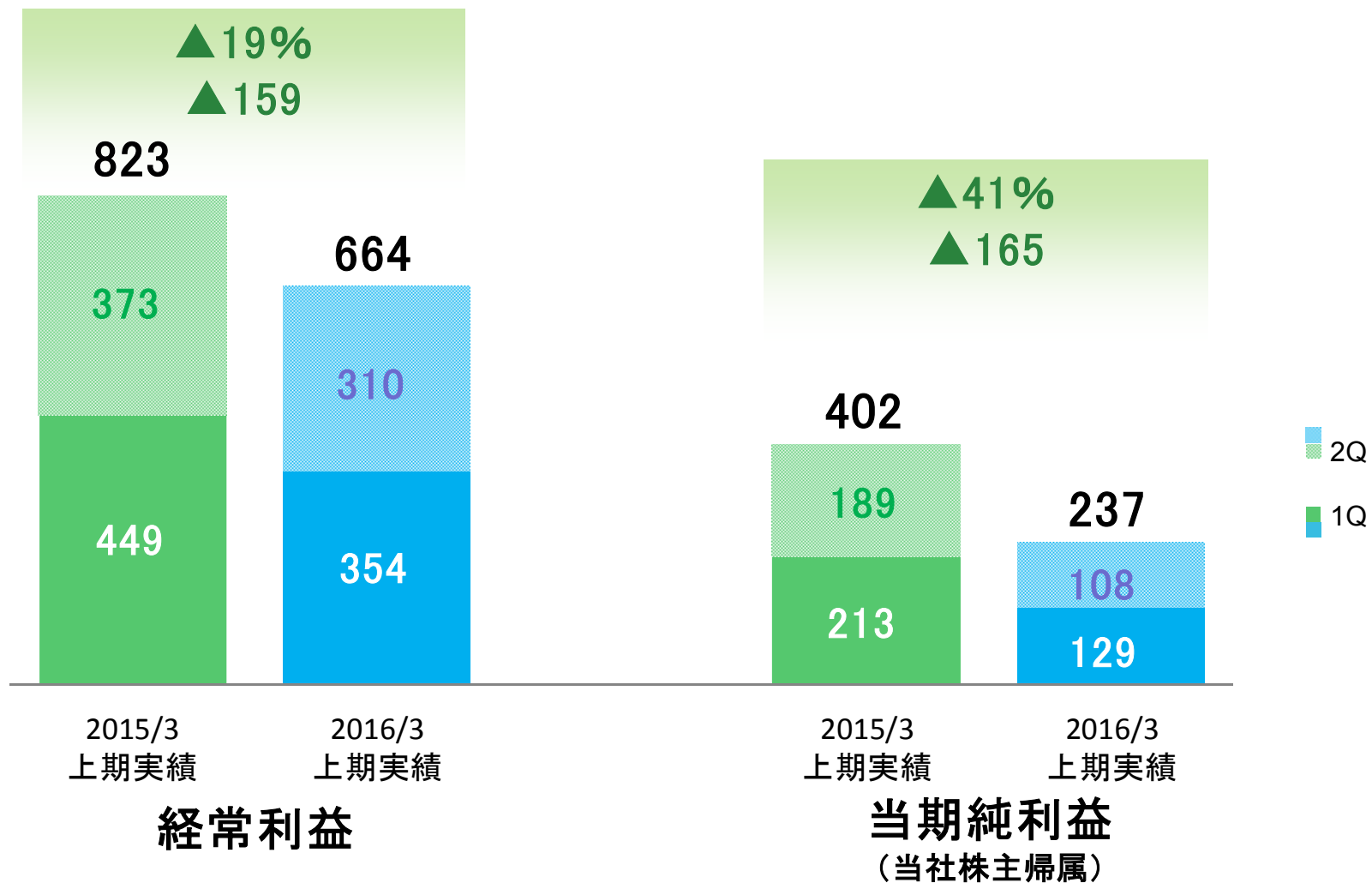
2016年3月期上期 連結決算概要(経常利益、当期純利益) (単位:億円)

【経常利益】 ▲159

営業利益の減少及び金属本部を中心に持分法による投資利益が減少したこと等により減益

【当期純利益(当社株主帰属)】 ▲165

契約解除損、投資有価証券及び出資金評価損並びに貸倒引当金繰入額等により前年比▲165





バランスシートの状況

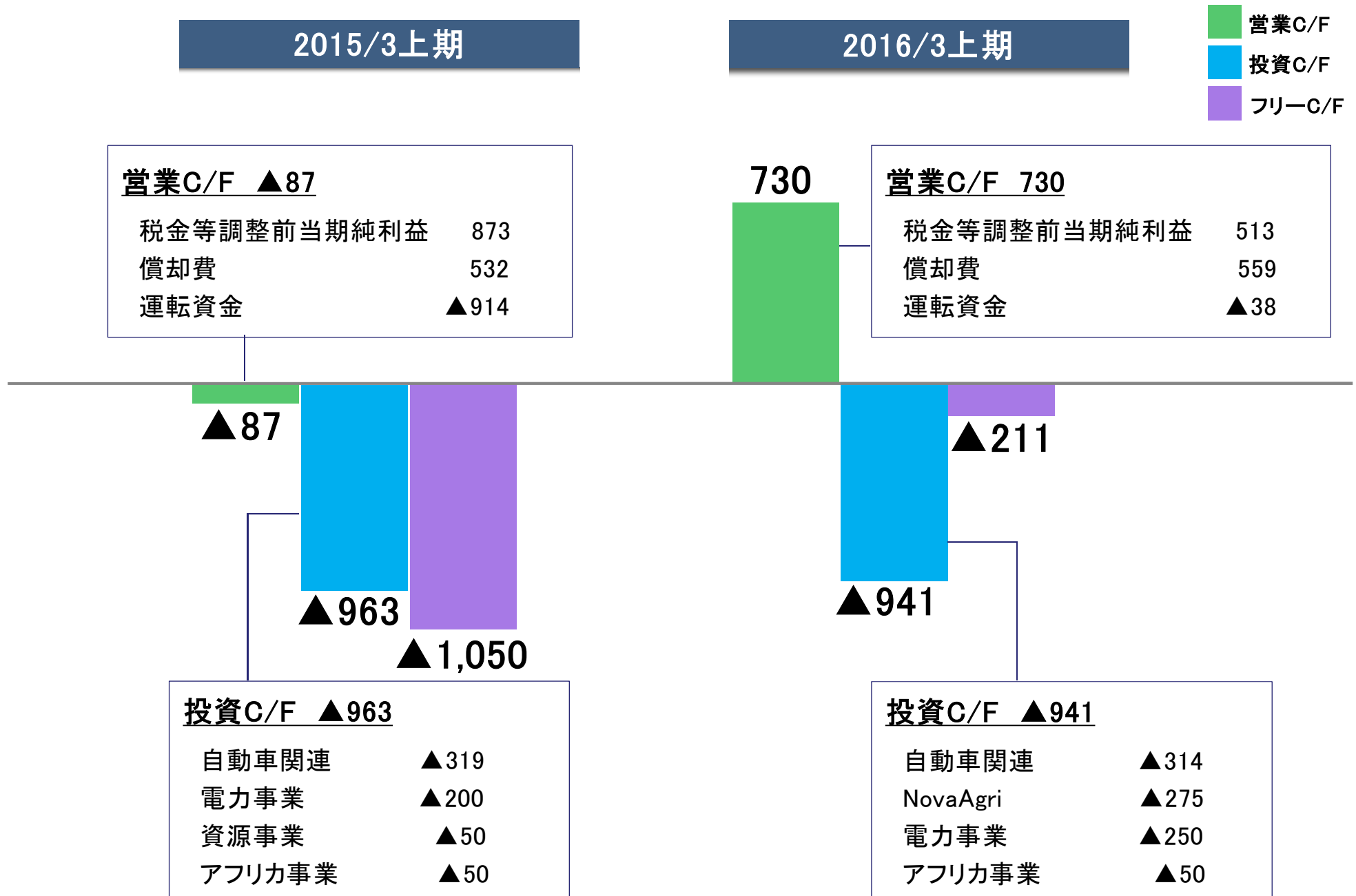
(単位:億円)

2015/3		2015/9	
流動資産 27,692	流動負債 20,617	流動資産 27,026	流動負債 19,856
	固定負債 11,674		固定負債 11,973
固定資産 17,644	純資産 13,044	固定資産 17,159	純資産 12,355

	2015/3	2015/9	増減
総資産	45,336	44,185	▲1,151
自己資本	11,255	10,686	▲569
自己資本比率	25%	24%	▲1%
有利子負債(NET)	12,335	12,873	538
DER(NET)	1.1倍	1.2倍	0.1
流動比率	134%	136%	2%

キャッシュフロー

(単位:億円)



2. 通期業績予想の修正について



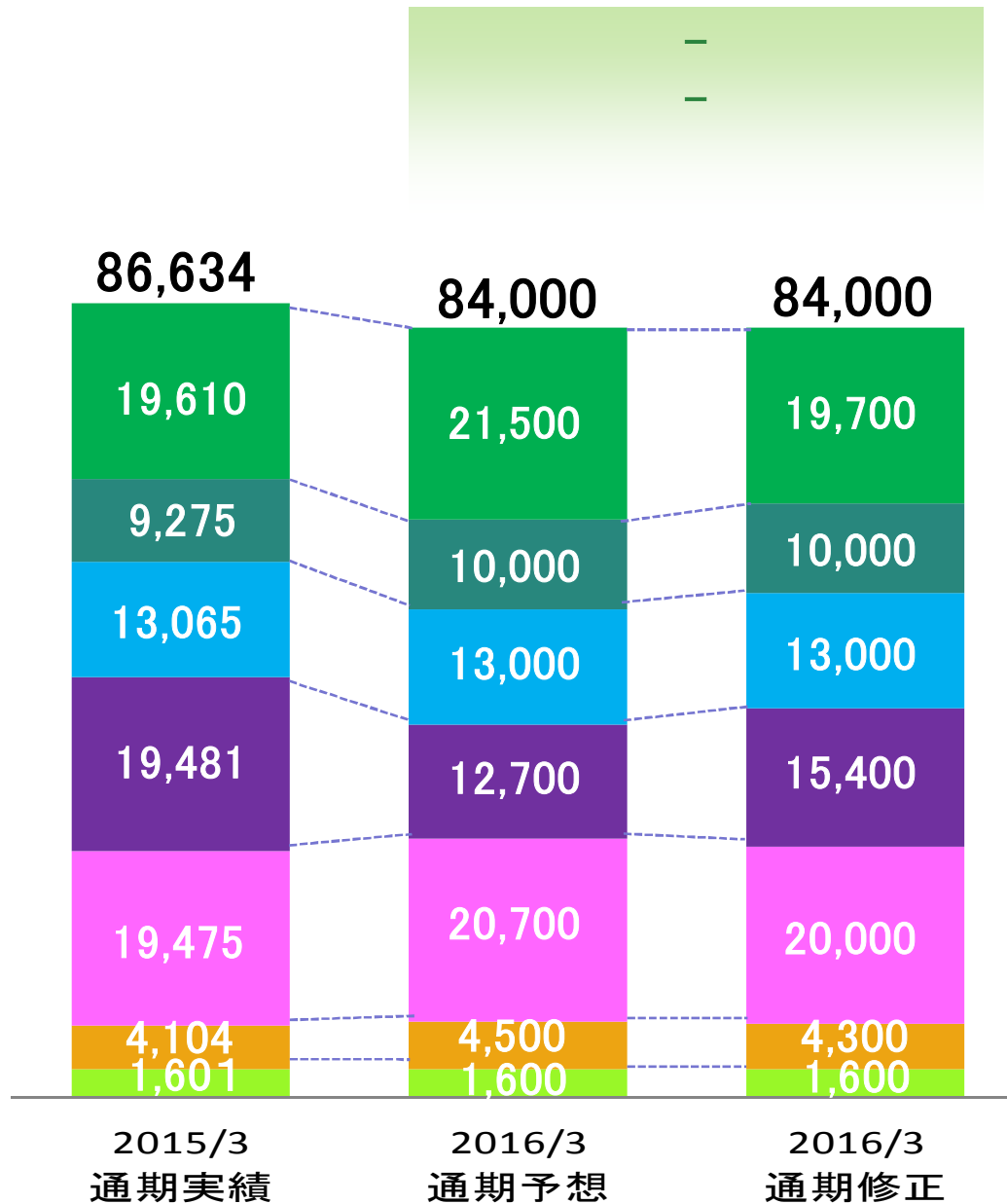
2016年3月期 修正予想の前提条件

指標		前期実績	当初予想	修正予想
為替レート	1USD	JPY110	JPY115	JPY119
	1EUR	JPY139	JPY125	JPY133
トヨタ自動車生産台数		895万台	912万台	912万台



商品セグメント別 当初予想比較(売上高)

(単位:億円)



<売上高修正要因>

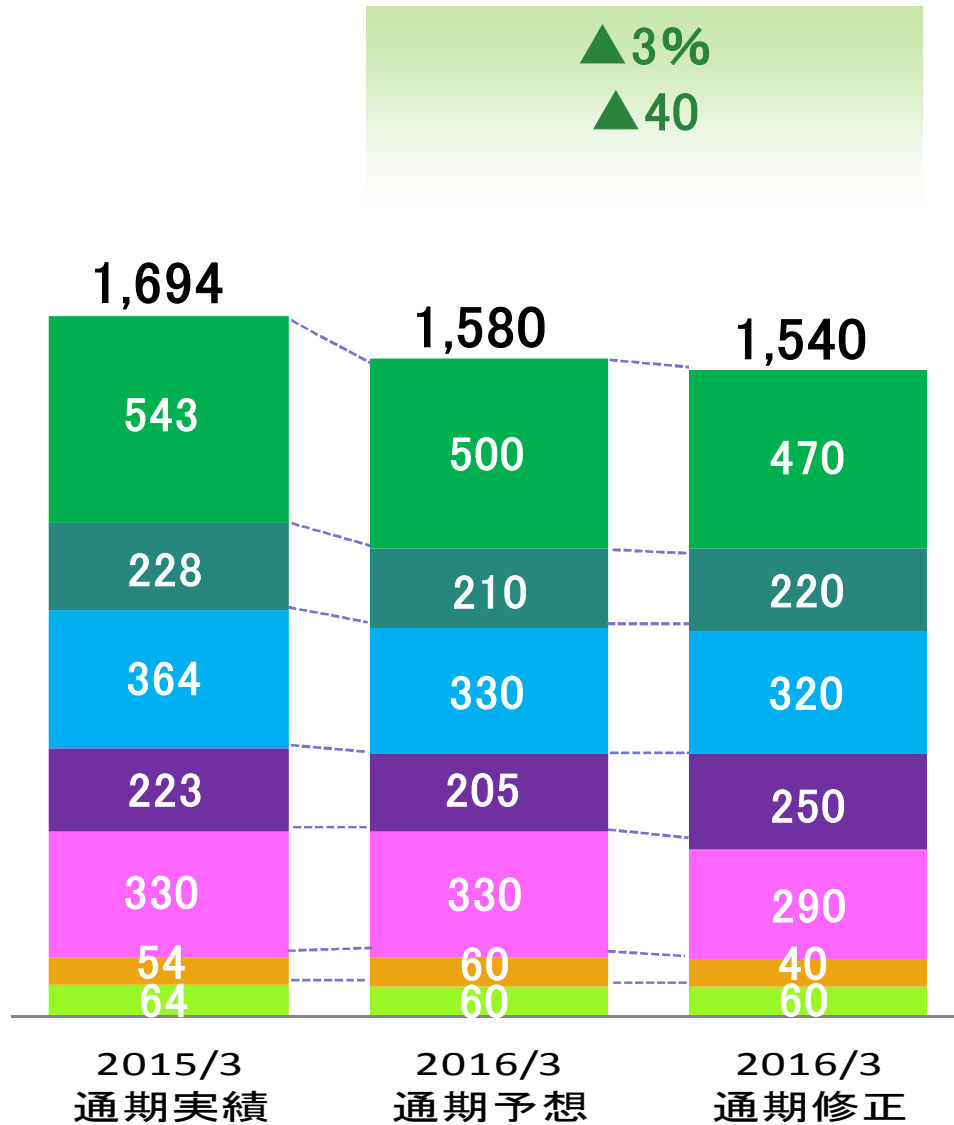
金属	国内生産台数減少
グローバル部品・ロジスティクス	当初予想通り
自動車	当初予想通り
機械・エネルギー	石油製品の取扱い増加
化学品	豪亜・中国需要減
食料	穀物市況悪化
生活	当初予想通り

- 金属
- グローバル部品・ロジスティクス
- 自動車
- 機械・エネルギー・プラントプロジェクト
- 化学品・エレクトロニクス
- 食料
- 生活



商品セグメント別 当初予想比較(営業利益)

(単位:億円)



<営業利益修正要因>

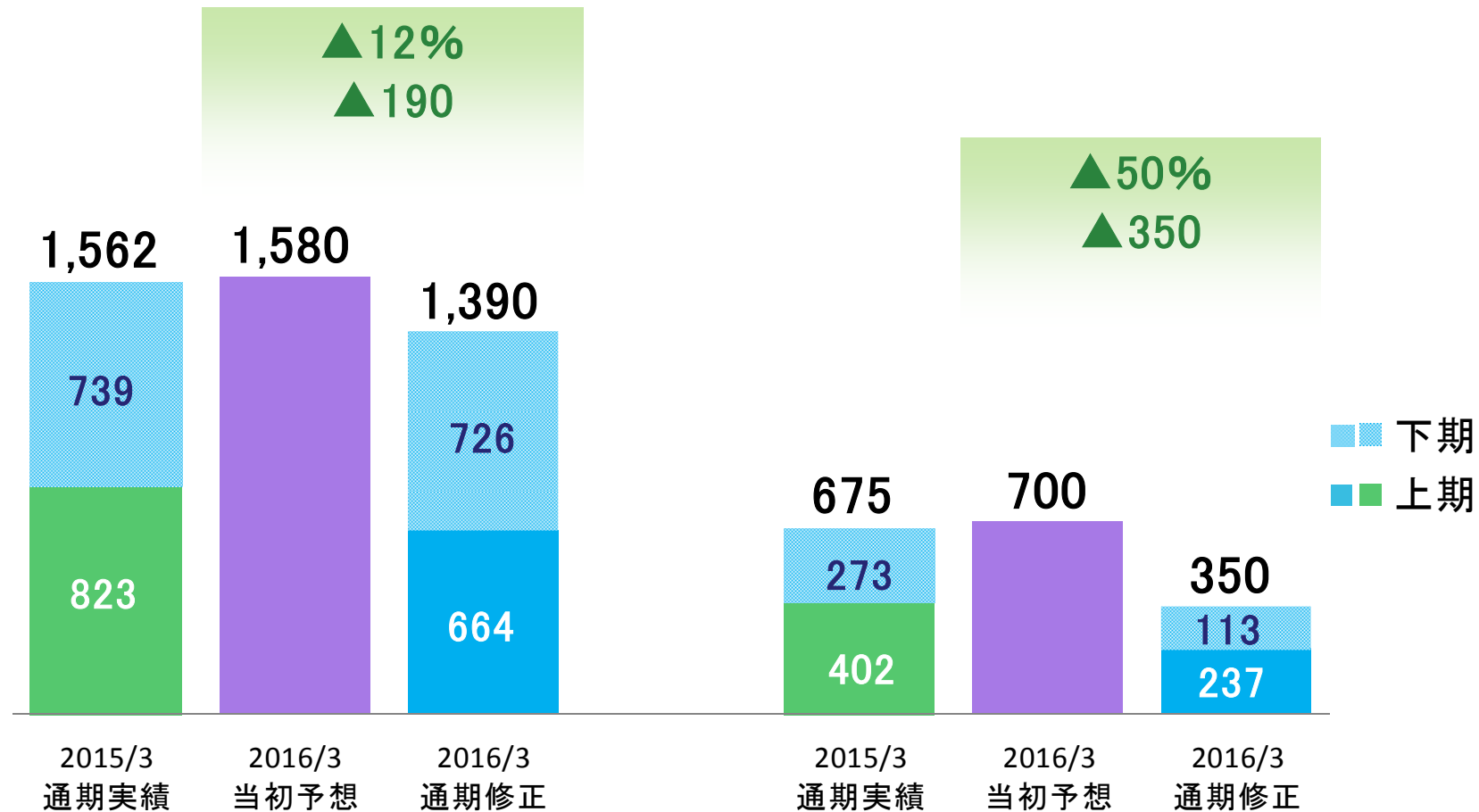
金属	非鉄プレミアム市況悪化
グロージ	当初予想通り(為替影響プラス要因)
自動車	アフリカ市場低迷
機エネ	機械関連取扱い増加
化エレ	在庫評価損、エレ関連取扱い増加
食料	穀物取引利益率低下
生活	当初予想通り

- 金属
- グローバル部品・ロジスティクス
- 自動車
- 機械・エネルギー・プラントプロジェクト
- 化学品・エレクトロニクス
- 食料
- 生活



2016年3月期 当初予想比較(經常利益、当期純利益)

(単位:億円)



經常利益

当期純利益
(当社株主帰属)



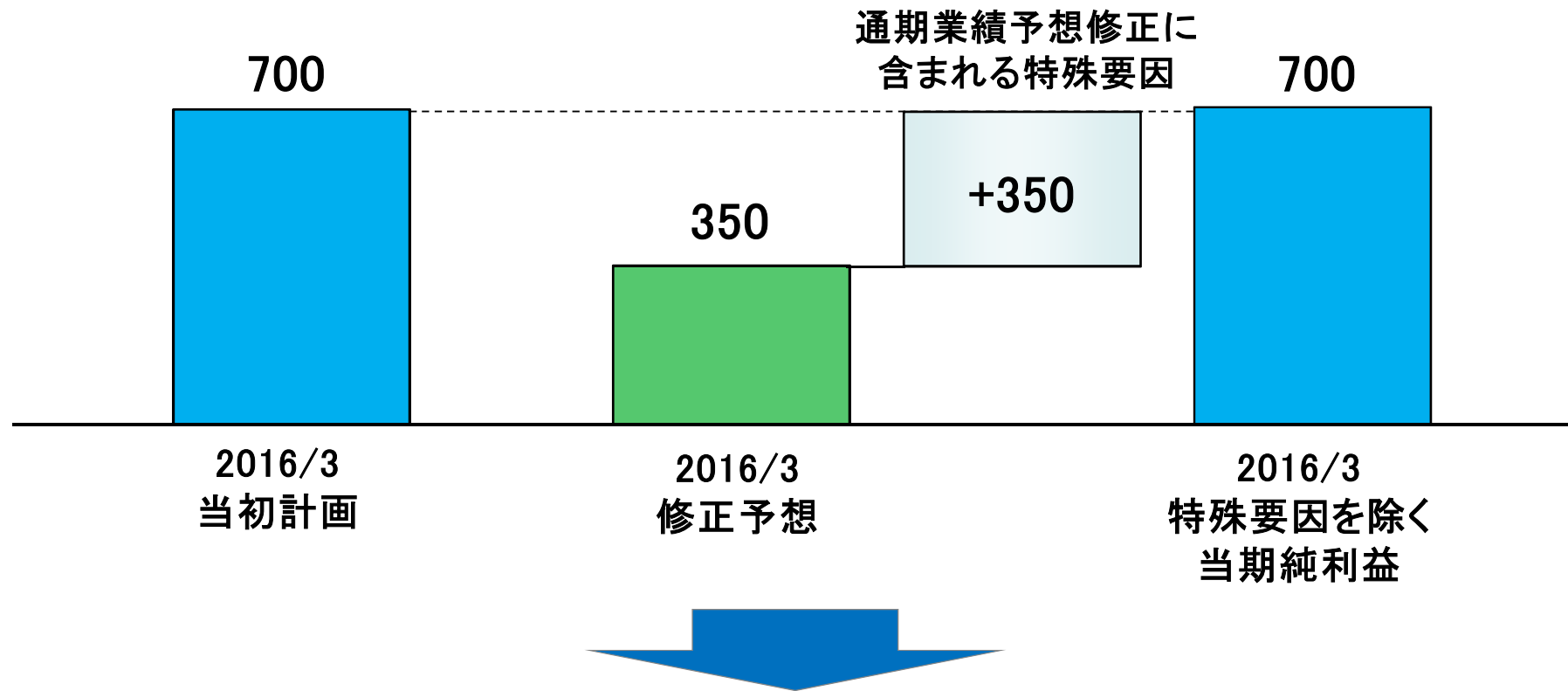
通期業績予想修正に含まれる特殊要因

(単位:億円)

項目	案件	当期純利益(当社株主帰属)	
		上期実績	下期予想
資源案件	カナダガス	▲62	
	豪州ガス		▲80
	インドレアアース		▲40
	小計	▲62	▲120
			約▲180
資源以外案件	欧州スクラップ	▲112	
	海外上場株式評価損	▲64	
	関係会社処理損 他		▲100
	小計	▲176	▲100
			約▲270
税効果		100	
	小計	100	0
			約100
	通期合計		約▲350


株主還元方針

(単位:億円)



	中間(第2四半期)	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	31円	31円	62円

2016年3月期の年間配当については、当初公表通り62円(予想)

3. 長期経営計画達成に向けて

業績修正およびその背景について

業績修正

- 現状の資源価格の低迷を反映
- スクラップ&ビルドの実現

業績修正の背景

- 投資サイクルの厳格運用による事業見極めの実施

当社が今行うべきこと

- 過去の投資の早期収益化、見極めの実施
- 当社基幹ビジネスの足元再確認
- 投資は継続
(営業キャッシュフローの範囲内、当社が勝てる事業へ厳選対応)

財務体質改善を図るとともに収益力向上を最優先に



過去の主な大型投資(5年間)

(単位:億円)

投資分野 主な大型案件名		内容	投資金額 (設備投資含む)
CFAO		「アフリカ戦略」の軸	約2,300
自動車		海外生産拡大、ディーラー網拡充、中古車・アフターマーケット事業、希少金属(リチウム等)	約2,100
自動車 以外	電力	再生可能エネルギー、北米ガス発電 多様な電源事業展開	約4,700
	エレクトロニクス	エレ4子会社を軸にシナジー発揮	
	穀物	NovaAgriを軸にバリューチェーン再構築	
	資源(ガス・石炭)	追加開発費拠出を停止/懸念に目途	
	化学品	ヨード、高吸水性樹脂等強みを生かした投資	
合計			約9,100

今期で懸案大型案件に目途をつけ、早期収益化へ



自動車分野の見通し(油価下落に伴う)

プラス要因

- 自動車市場の拡大
 - ⇒生産増連動
 - ⇒設備取扱い増(メキシコ・中国等)
 - ⇒他メイク需要取り込み
- 米国、インド等の経済好調・復調
- 新素材/新技術の取扱い
- 大型車需要の拡大(特に北米)

＜今後の販売市場見通し＞ この1-2年は市場は横ばいの見込み

(単位:万台)	2014年 実績	2015年 見通し	2016年 見通し	2021年 見通し
世界市場	8,771	8,797	8,992	10,354

※FOURIN,Inc 世界自動車統計年刊2015より一部抜粋

- 資源国経済の停滞
- 新興国通貨為替リスク
- エコカー需要減

マイナス要因

- 生産改革のスピードは加速、対応急務
- 販売増加の転機に向け、周辺事業の準備期間



自動車分野の収益基盤拡大分野・収益ドライバー

モビリティ分野

新素材/新技術対応

(金属・自動車・化エレ本部)

- 次世代自動車向けリチウム開発
- 水素自動車普及インフラ整備

販売周辺業務取込み

(グロロジ・自動車本部)

- 純正～市販部品取扱拡大
- 中古車/販売金融

海外生産増強への対応

(金属・グロロジ・機エネ・化エレ本部)

- メキシコ工場新設/広州拡張対応等
- モジュール化対応

販売地域・取扱ブランド拡大

(自動車本部)

- アフリカ戦略(西:トヨタ、東:VW)
- 日野トラック/ヤマハ発動機

ライフ&コミュニティ分野の収益基盤拡大分野・収益ドライバー

ライフ&コミュニティ分野

穀物バリューチェーン

(食料本部)

- 川上での安定調達
- 4サイロを軸に東南アジア他
海外への安定供給

アフリカ事業展開

(全本部)

- CFAOネットワーク・人脈×
当社のグループカ、経験、物流ノウハウ
- 医薬品/消費財/耐久財

チャレンジ

エレクトロニクス事業

(化エレ本部)

- グループ4社の横連携による
国内外の販売力・調達力強化
- 拡大する電子部品市場での
グローバルプレーヤーを目指す

 アース&リソース分野の収益基盤拡大分野・収益ドライバー

アース&リソース分野

多様な電源種を持つグループ力を発揮

再生可能エネルギー

(機エネ本部)

- 送電事業の検討
- 余剰電力の貯蓄・販売
(水素、蓄電池等)

電力事業

(機エネ本部)

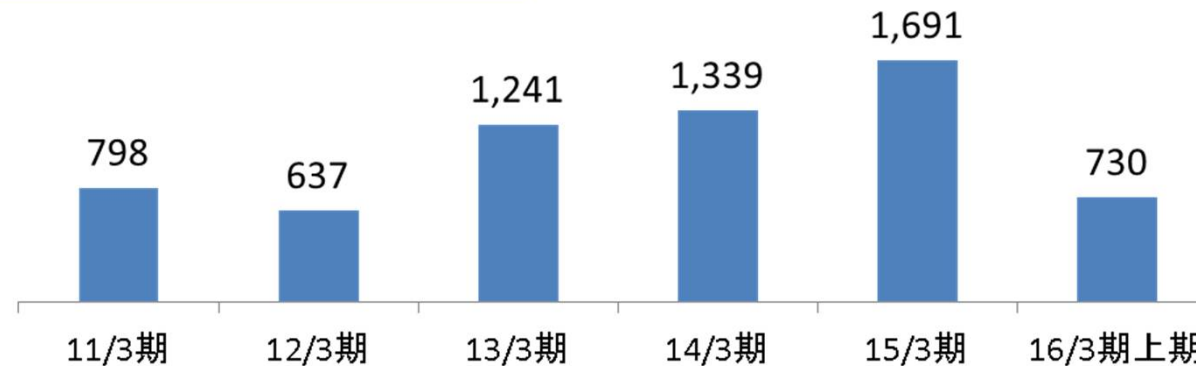
- 発電事業のバリューチェーン構築
- 太陽熱、水力、地熱等電源種の
更なる多様化対応



投資スタンスと営業キャッシュフロー

(単位: 億円)

営業キャッシュフロー推移



2016年3月期上期投資実績

	投資内容	金額
自動車	設備投資(CFAO)	314
	北米自動車生産関連設備	
自動車以外	太陽光・風力発電事業(ユーラス)	773
	NovaAgri社買収	
	設備投資(CFAO)	
合計		1,087
キャッシュイン等		146
投資キャッシュフロー		941

投資は営業キャッシュフローの範囲内とし、良質な資産を構築

 投融資プロセスの強化

投資戦略会議(毎月実施)により、戦略性の徹底議論


投融資プロセスの強化

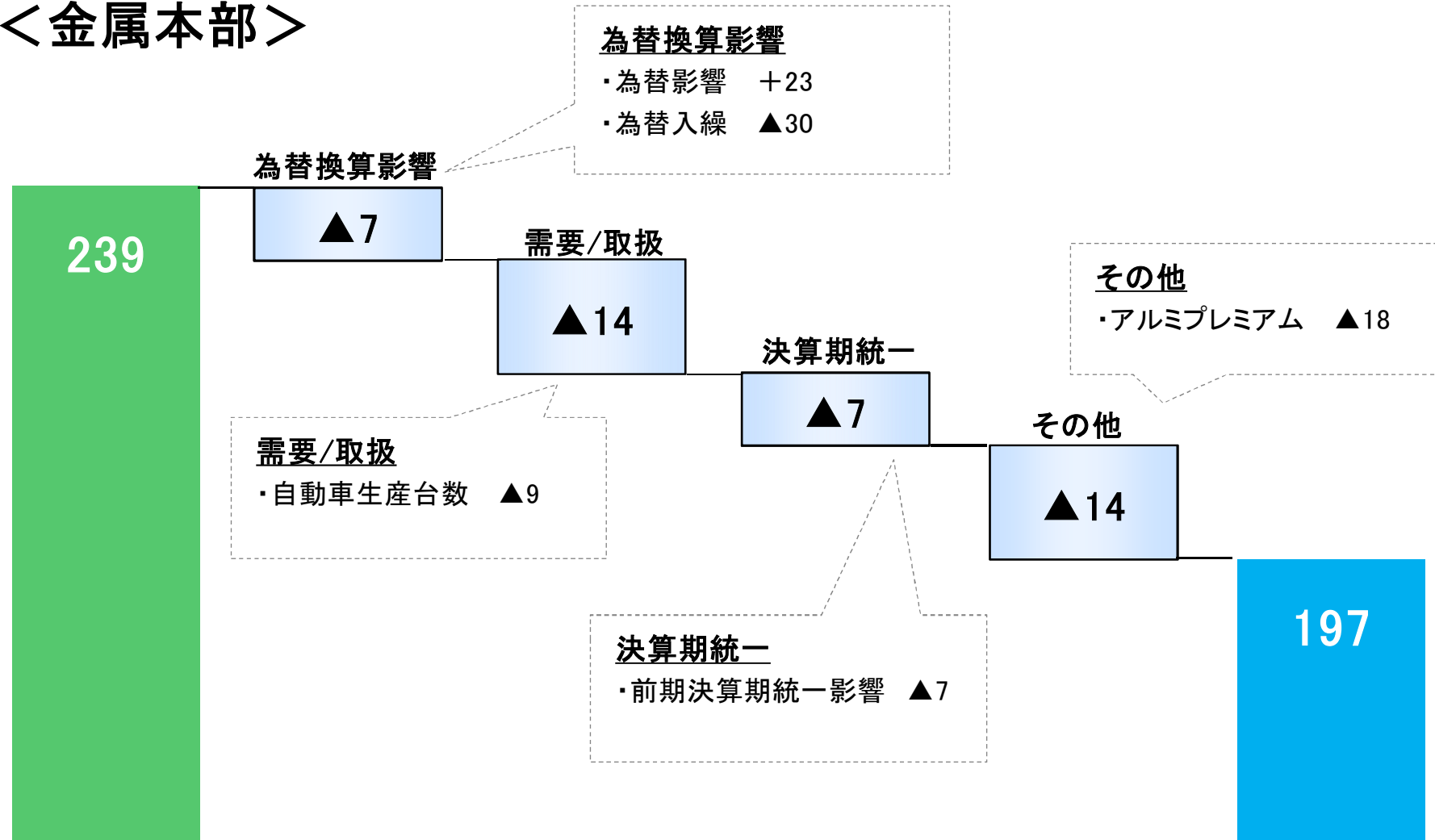
- 定量基準の厳格運用
- 全社/本部での優先順位の設定
- 案件入替え(経営資源の重点配分)
- 100億円以上の投資案件へのコーポ人材の配置

4. 補足資料

2016年3月期上期 営業利益増減要因

(単位:億円)

< 金属本部 >



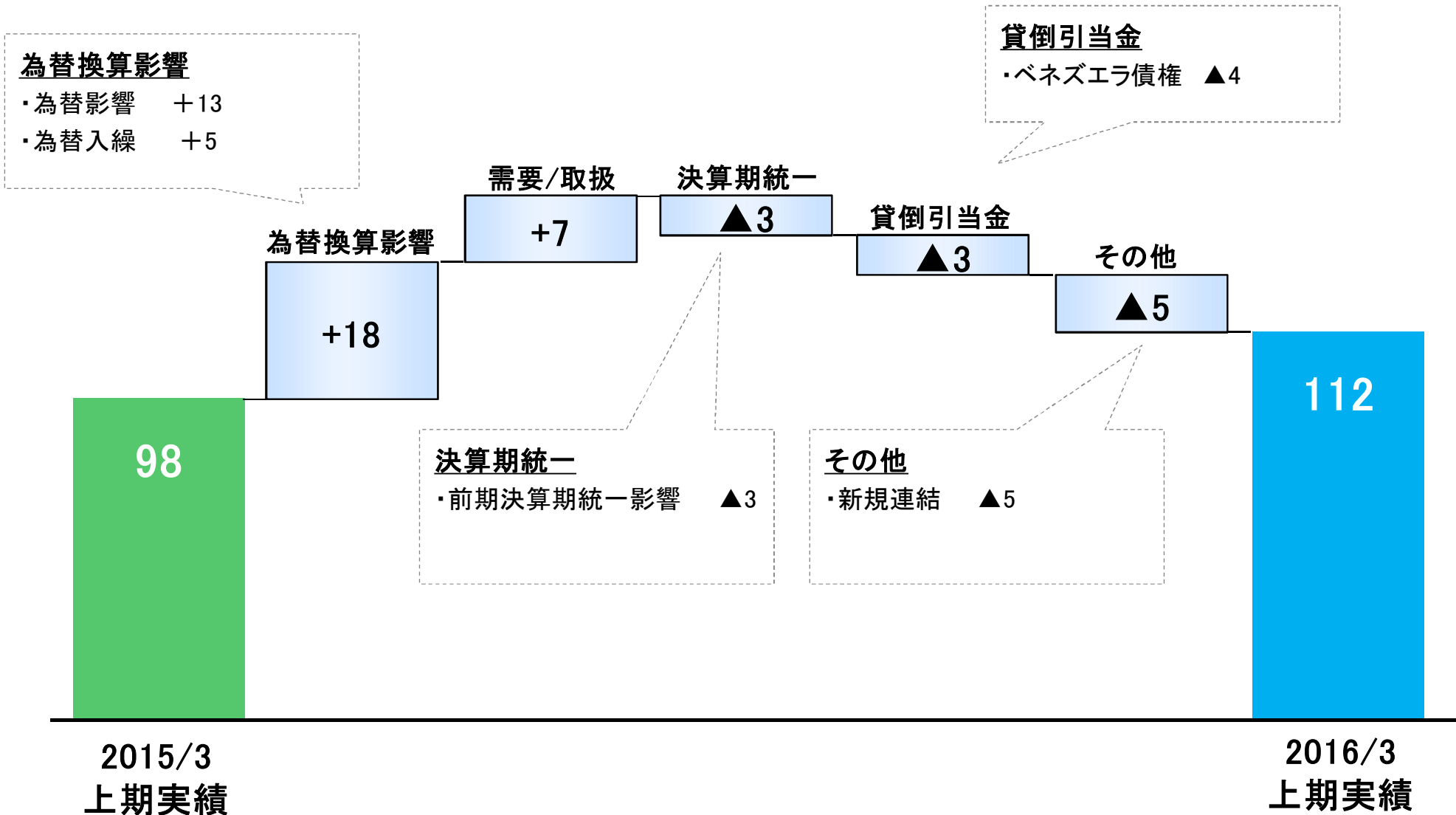
2015/3
上期実績

2016/3
上期実績

2016年3月期上期 営業利益増減要因

(単位:億円)

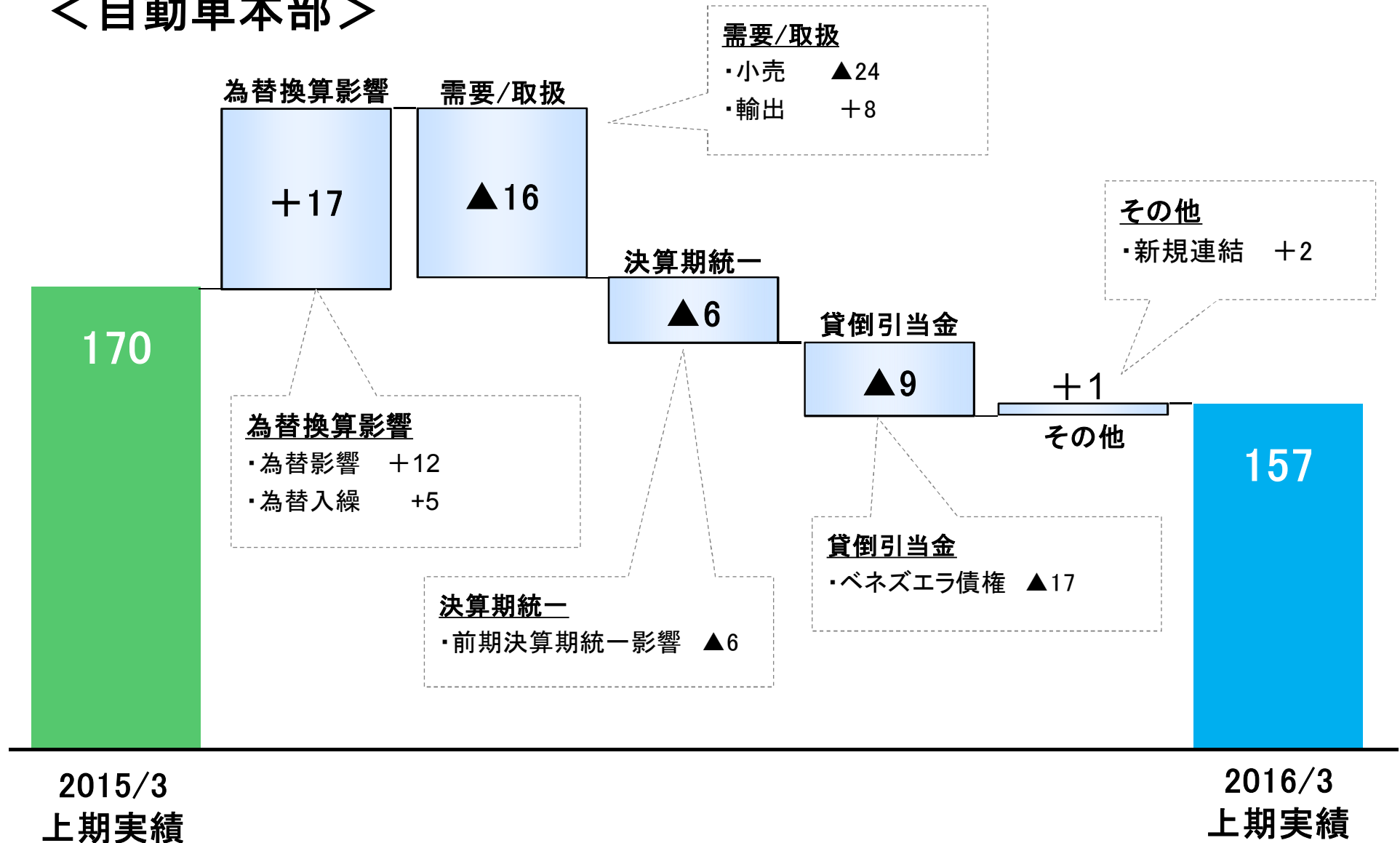
<グローバル部品・ロジスティクス本部>



2016年3月期上期 営業利益増減要因

(単位:億円)

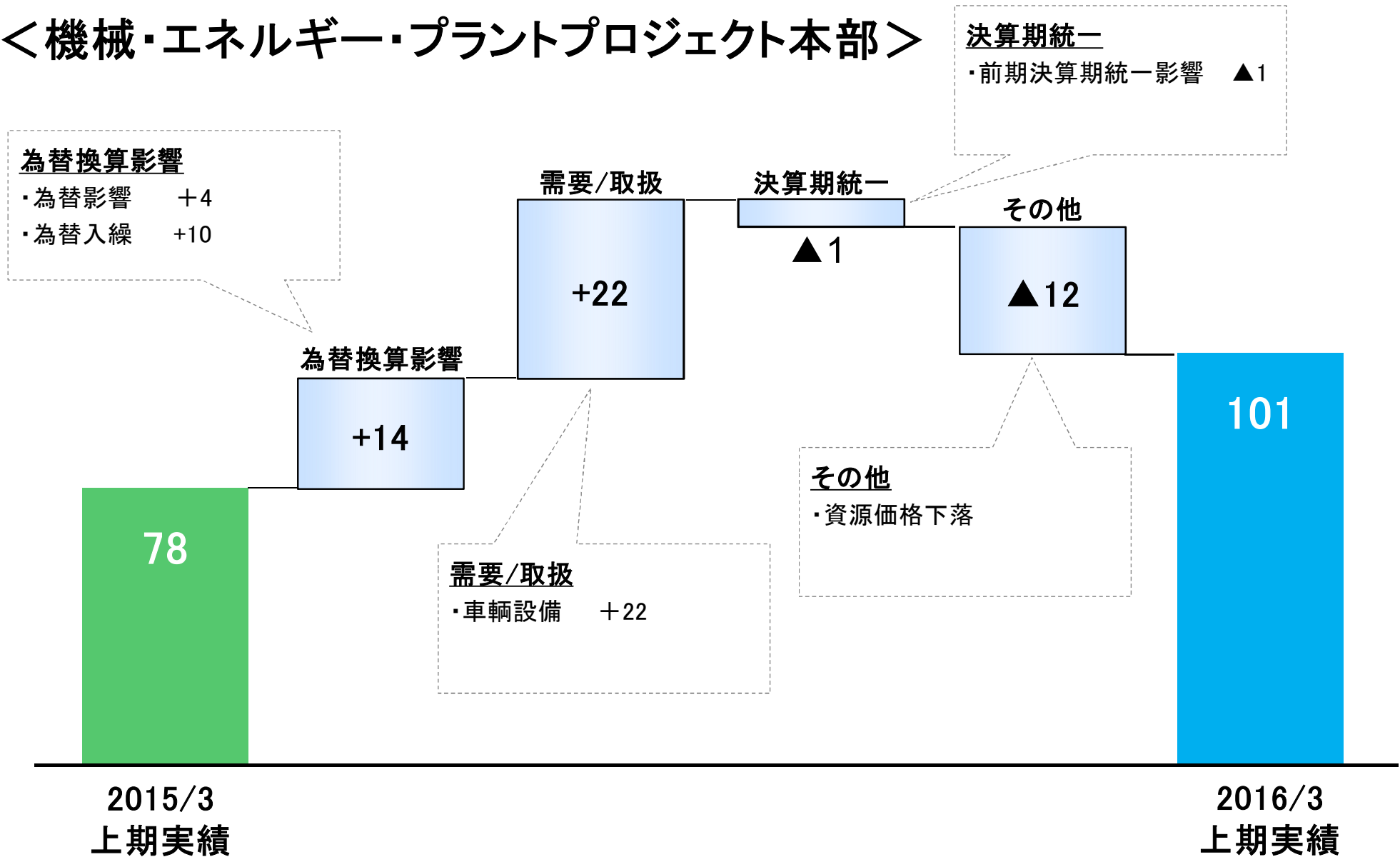
<自動車本部>



2016年3月期上期 営業利益増減要因

(単位:億円)

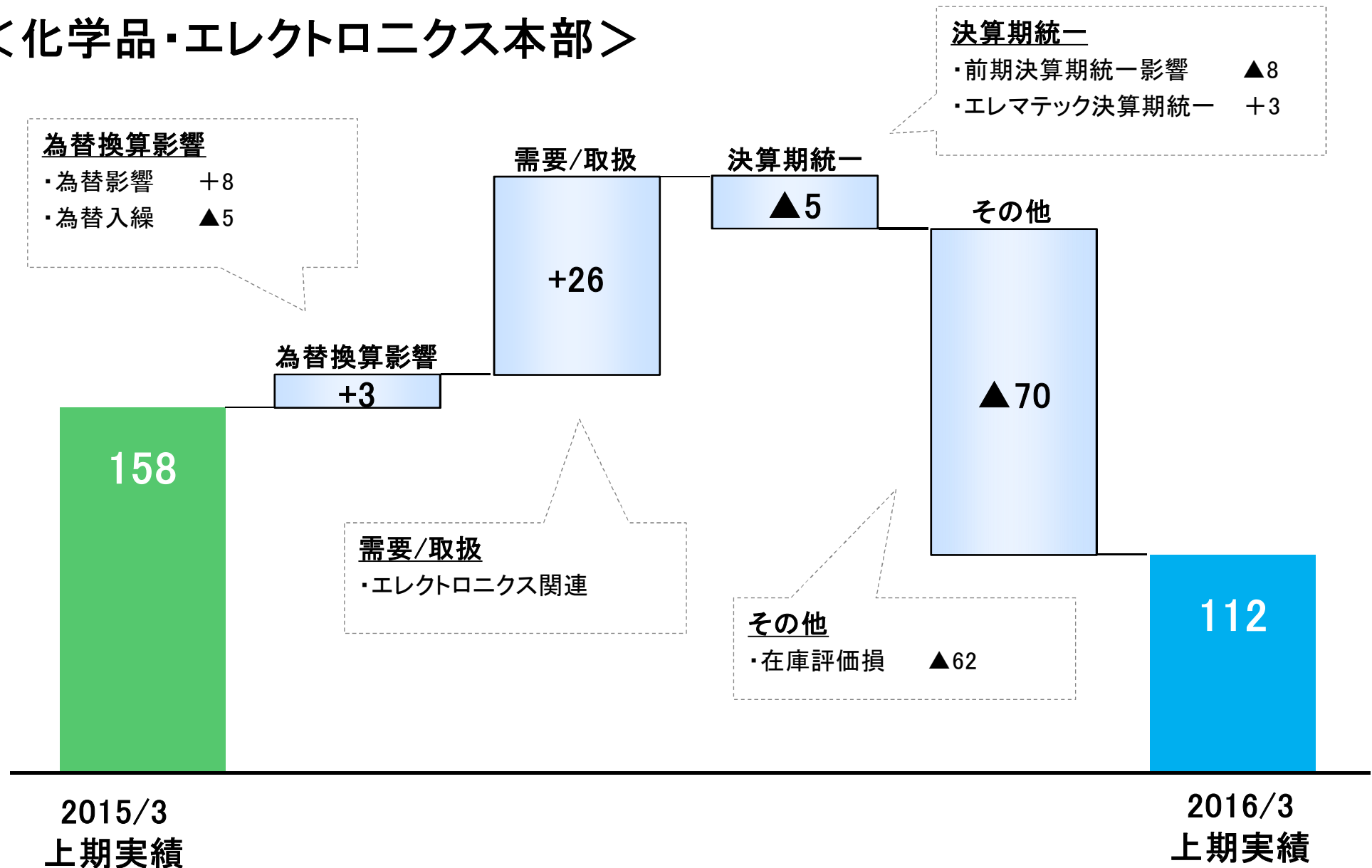
<機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部>



2016年3月期上期 営業利益増減要因

(単位:億円)

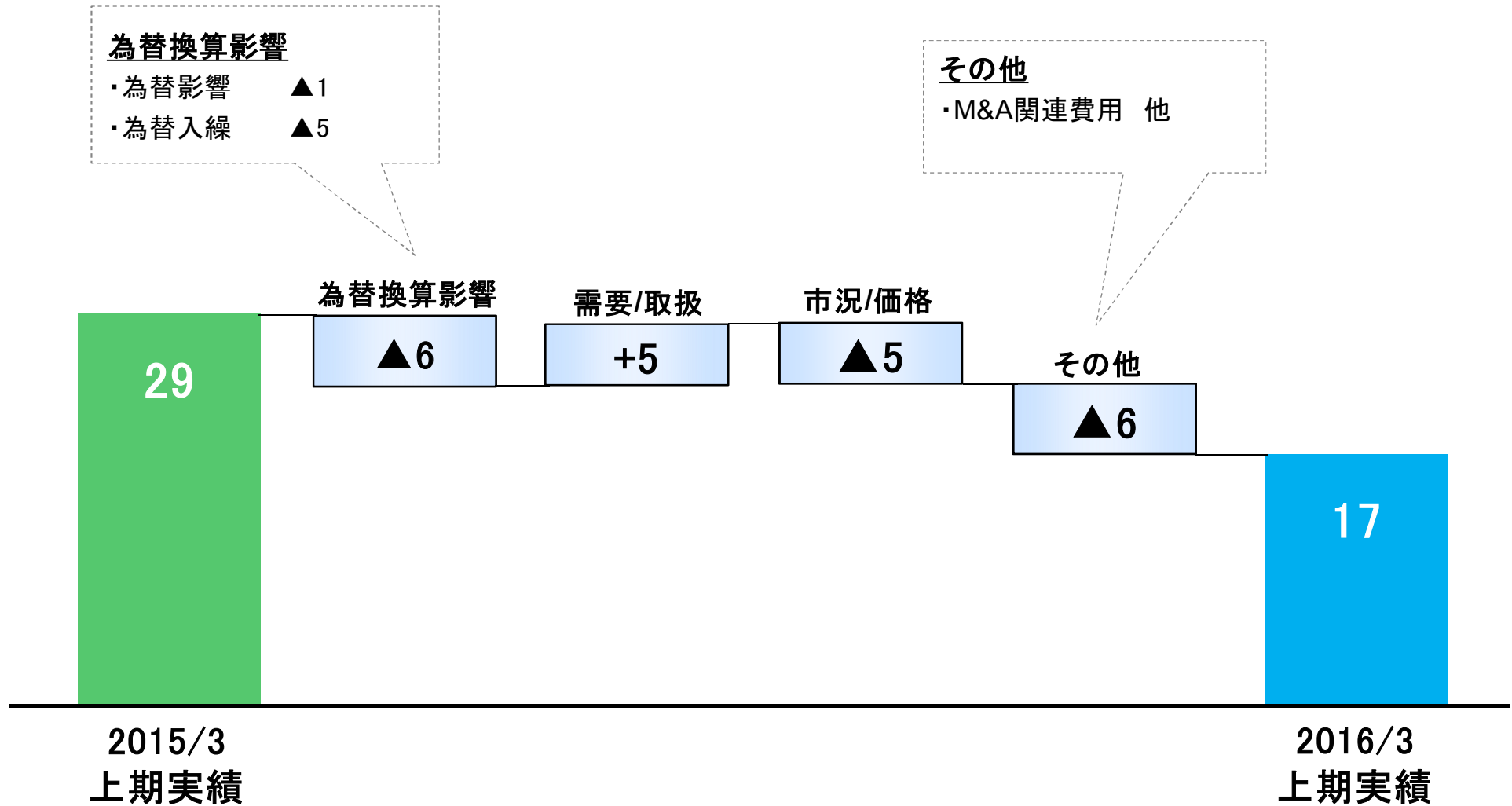
<化学品・エレクトロニクス本部>



2016年3月期上期 営業利益増減要因

(単位:億円)

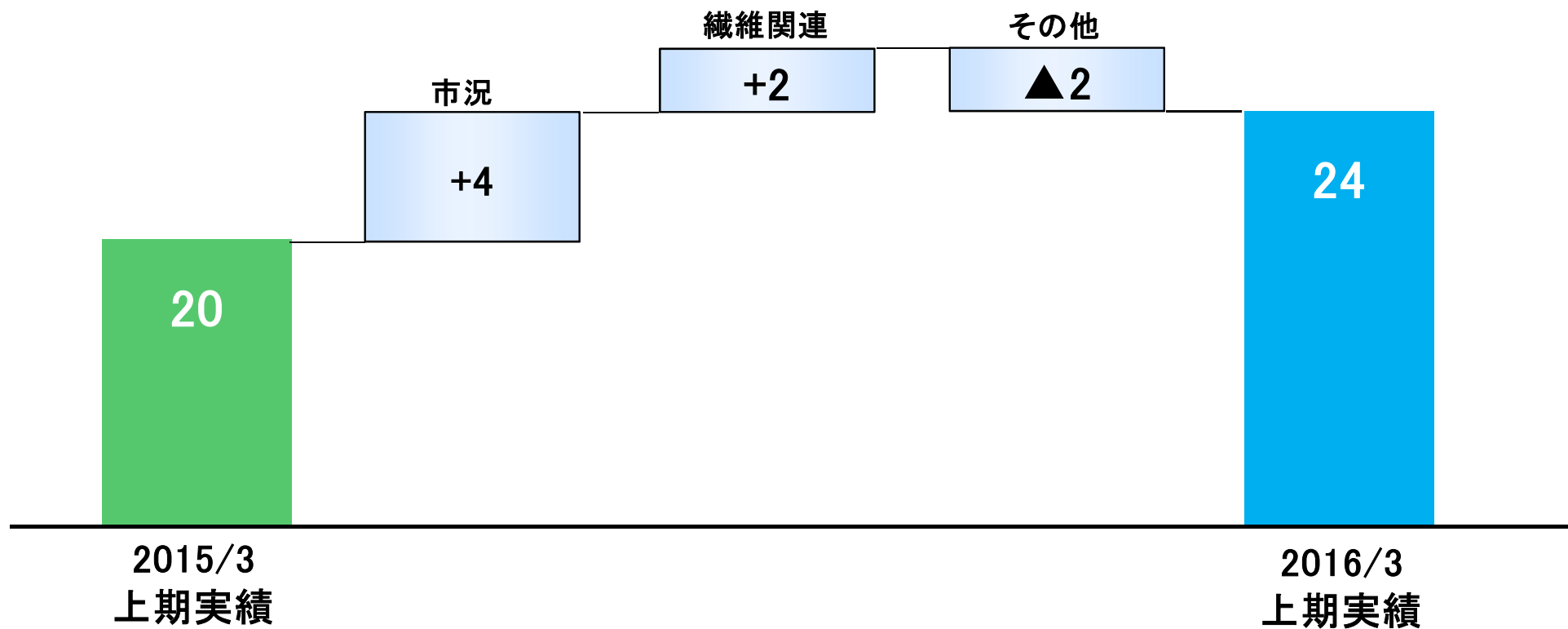
<食料本部>



2016年3月期上期 営業利益増減要因

(単位:億円)

<生活産業本部>





当社保有資源権益

種別	案件名	場所	当社出資率	状況	オペレーター	備考
ガ	Wheatland CBM Project	カナダ (アルバータ州)	32.5%	生産中 (2001年～)	Encana (67.5%)	
	ATP651P CBM Project	豪州 (クィーンズランド州)	15%	生産中 (2015年～)	BG Group (62.6%)	
	Bass Gas Project	豪州 (ビクトリア州)	11.25%	生産中 (2006年～)	Origin (42.5%)	
ス	Otway Gas Project	豪州 (ビクトリア州)	5%	生産中 (2007年～)	Origin (67.2%)	
石	Integra	豪州 (NSW州)	15%	—	—	
炭	Oakbridge	豪州 (NSW州)	5%	生産中 (1994年～)	Glencore (78%)	

資源名	場所	当社出資率	状況	パートナー	備考
ヨード	チリ (サンティアゴ)	25.5%	生産中 (2012年～)	ACF Minera S.A. (74.5%)	180,000mt (総ヨード抽出可能量)
リチウム	アルゼンチン (フワイ州)	25%	生産中 (2014年～)	Orocobre (66.5%)	炭酸リチウム17,500t/年
レアアース	インド (オリッサ州)	—	契約締結 準備 中	Indian Rare Earths Limited	権益ではなく 混合塩化希土の引取り権



豊田通商株式会社 財務部 IR室

E-mail

ttc_ir@app.toyota-tsusho.com

東京

TEL

03-4306-8201

FAX

03-4306-8818

◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社およびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。